



第六十八回 千葉市身体障害者福祉大会
(みやざき倶楽部にて)

第262号



千葉市身障者福祉会
発行 広報委員会
責任者 飛嶋 信行

『第六十八回 福祉大会』盛大に開催

千葉市身体障害者福祉会「第六十八回福祉大会兼新年会」は好天に恵まれ、平成三十一年一月二十日(日)十時よりJFEみやざき倶楽部「ミューズホール」に於いて総勢113名が参加し盛大に開催されました。

第一部の式典では飛嶋理事の司会進行により小倉副会長の開会のことばでスタートしました。

公私ともに忙しい中、ご来賓に千葉市議会議長、村尾伊佐夫様。千葉市障害者自立支援課課長、柏原郁夫様。千葉市身体障害者連合会常任理事兼、千葉市視覚障害者協会副理事長、高梨憲司様。千葉市聴覚障害者協会会長、坂井和彦様。日本芸能協会(朱龍会代表)最上流家元、最上華寿希様。の皆様をお迎えし、大会が進行されました。

主催者挨拶として高山会長が挨拶をされ、続いて村尾伊佐夫様、柏原郁夫様、高梨憲司様より大会への祝辞と「福祉会」の今

後の更なる発展と活躍を期待します」との心温まる激励のお言葉を頂きました。

その後昨年度の各分野の受賞者の紹介を行い、会場の皆様より温かい拍手で祝福されました。

受賞者紹介の後、砂原理事による「大会宣言(案)」、平本理事による「大会決議(案)」が提案され、満場の拍手により、それぞれが原案通り承認、採択されました。

小野理事による万歳三唱、小嶋副会長の閉会のことばで第一部の式典が終了しました。

引き続き、第二部の「新年懇親会」は小嶋副会長の総会司会によりスタートしました。小嶋副会長の開会のことば、花島理事の「乾杯の音頭」で美味しい食事を頂きながら楽しいアトラクションが始まりました。

初めに六地区から選抜された当会員によるカラオケで盛り上がり、続いて朱龍会皆様出演

の素晴らしい踊りに目を奪われ拍手喝采。さらに恒例となったミスター田川(田川誠氏)のマジックショーにて笑いとお驚きに目を奪われました。その後再び会員によるカラオケ、続いてこちらも恒例となったビンゴ大会が催されました。ビンゴマシンよりはじき出される数字を進行役である林理事が読み上げ、その言葉に耳を傾け、ビンゴカードに目を向け、会場全員夢中となり、瞬間に時間が経過しました。皆様のご協力によりスムーズな大会進行がなされ、ビンゴゲーム終了後も時間的余裕があり再度、人気のある会員のカラオケが催され、最後に小嶋副会長の「閉会のことば」で無事終了しました。

ご来賓の皆様、ご出演の「朱龍会」の皆様方、ご苦勞様でした。

来年も会員・家族の皆様のご協力により、楽しい新年福祉大会が開催出来すように祈願してご報告とします。

(広報委員会)

【大会宣言】

本日、ここJF Eみやぎき倶楽部において第六十八回千葉市身体障害者福祉大会を開催するにあたり、日頃本会に寄せられた各方面のご理解とご支援に対し、あらためて深く感謝の意を表します。

平成二十九年八月より、千葉県では障害等により、支援や配慮を必要としている方へ『ヘルプカード』の配布を行い一般市民へ障害者の理解活動を展開しているところであります。

千葉市でも『ヘルプカード』の浸透を図る為、様々な活動を、検討しています。我々障害者も自治体に任せるだけでなく、自分自身で一般市民、一般社会に対して理解活動を行うことが重要です。

どんな重度の障害を負った人でもこの世に生を受けられない命は一つもありません、かけがえない社会の一員であり、家族にとって大切な宝です。

私達障害者は「私達」のことは、私たち抜きで行わないで」を基本に障害を理由とした不当な扱いを注視し、そして障害者の社会参加をこばむ障壁(バリア)の解消を市民共通の目標にかかげ、差別のない共生社会の実現を目指しどの様な状況下においても日身連をはじめ障害者団体の連携を益々強める必要性を痛感しております。

地域における障害者のもつ問題意識を共有し、

大会決議

身体障害者福祉の向上を念願する我々は、本日の大会で次の事項を決議し、これが実現を期す。

- 一、自覚を高め、障害者相互の理解と会員の増加・組織の拡充を図ろう。
 - 一、一般社団法人千葉市身体障害者連合会の充実に協力・参加しよう。
 - 一、全員参加の社会づくりをめざし、更にバリアフリー化を推進しよう。
 - 一、千葉市障害者計画及び障害福祉計画の完全実施を推進しよう。
- 以上決議する。

平成三十一年一月二十日

第六十八回 千葉市身体障害者福祉大会

団体活動を通じて不断の目標「完全参加と平等」の実現に向け、魅力ある福祉会として、又、地域社会を構築する一員としてその社会的責任をしっかりと果たし更なる推進に向け、全力を尽くすことを決意し宣言する。



受賞者紹介 (敬称略)

福祉大会において次の方々をご紹介されました。

◆厚生労働大臣表彰及び天皇・皇后両陛下下拝謁
松岡 多喜子理事

◆千葉県社会福祉協議会会長表彰 団体役員功労
卯田 孝子理事

◆日身連会長表彰 団体役員功労
江口 巖理事

◆千葉市長 文化部門 特別表彰
阿部 ちい様
平成三十年六月十四日 日身連福祉大会「群馬大会」にて受賞

◆スポーツ功労賞
☆第十八回全国障害者スポーツ大会
「福井しあわせ元気大会」
大橋ひで子選手・・・水泳競技 25背泳ぎ 4位
25自由形 6位

☆第四十九回政令指定都市親善スポーツ大会
(ボウリング大会)参加者

監督・・・平本弘志
選手・・・平本弘志、高橋春雄、林四郎、
村松百合選手、守護晴之、卯田孝子、村松百合
漆原俊夫選手(視覚協会)・・・チーム敢闘賞
Aチーム・・・最下位
Bチーム・・・7位

☆第五十二回三笠宮杯チャリティボウリング大会
(品川プリンスホテル)参加者
平本弘志、村松百合
平本弘志選手・・・男子個人 3位
スカッチトリオ・・・平本チーム準優勝
村松チーム 3位

文化部門受賞者

○第二十四回千葉市障害者作品展

松下 徹雄・・・千葉市社会福祉協議会会長賞
東 茂昭・・・千葉日報社長賞
女池 恵理子・・・努力賞
浅野 恒雄・・・特別参加賞(5年連続出席)

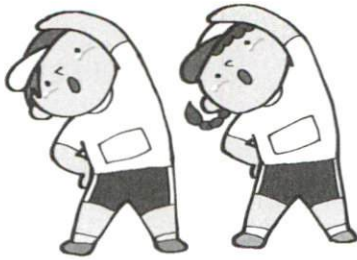
「第五十三回
体育祭」開催

千葉市身体障害者福祉会恒例の第五十三回「体育祭」は六月二日(日)高浜の千葉市療育センターで開催します。(九時受付、十時開会)

参加の申し込み(名前、人数)と「たいよう号」利用希望者は五月十日(金)までに地区役員へ申し込みをお願いします。

「たいよう号」は京成千葉中央駅、九時出発で療育センター間を運行します。

(体育委員会)



千葉身障の歴史

第三弾となりました
千葉身障の歴史。これま
で第一号、第一五〇号、
第一九六号と振り返つて
来ました。
今回は記念すべき節目の
第一〇〇号にスポットを
当てていきます。

第一〇〇号は二十七年前の平成四年三月号となり、広報責任者は現会長の高山功一さんです。ちなみに現広報責任者の私は当時九歳です。

一面には当時『全スポ』大会にアーチェリー競技に出場された林山果平さんの記事が掲載されています。当時の開催場所は石川県にて開催され、次大会より千葉市が政令指定都市として出場が決定した時期でもあったようです。

二面には療育センタ
にて実施されていた『ふ
れあいカラオケ大会』の
報告。『ふれあいボウリ
ング大会』の開催告知。
又『第四十一回成人善行
大会』にて受賞された加

藤銀次郎さんの報告記事が掲載されています。加藤銀次郎はなんと当時八十三歳での受賞だそうです。私も加藤さんを見習い長生きをしたいと思えます。

三面には『身体障害者相談員』の役員掲載の記事、新入会員入会の記事、訃報の記事となっています。

四面には現在も続いている『千葉市身体障害者福祉大会』における『大会宣言(案)』『大会決議(案)』が掲載されています。当然ですが、どちらも現在とは全く異なっている『宣言』『決議』となっていて当時の福祉会の活動方針が見て取れます。最後に記載されている「皆で考え・参加しよう」この文面は千葉市身体障害者福祉会において現在でも、色褪せない一言だと

感じます。

最後の記事は現在でも当福祉会でも活躍されている福祉バス『たいよう号』が当時第二号車として更新された記事です。

また、全ページ最下段には、企業等の広告が所狭しと掲載されています。

毎度過去の広報記事を振り返る度、私にとって
は新鮮で、非常に興味深く読ませて貰っています。皆さんにはどのよ

るのでしょう。か？毎度小さな写真にはな
ります。是非目を通して頂き、それぞ
れ思いを馳せて頂ければと思います。今
後不定期ではありますが、あります。過
去の千葉身障を振り返つて行きたいと
考えています。

(広報委員会)



～福祉社会会員募集～

福祉社会は発足六十七周年を迎えました。更に発展するように、会員募集中です。
知り合いの方や、お近くで身体障害者手帳をお持ちの方を地区役員に紹介ください。(組織委員会)

ゲートボール参加者募集

高浜の療育センター三階にてゲートボールのサークル活動を行っています。
みなさん、和気あいあいのんびりプレイしています。
初心者からベテランまでどなたでも参加お待ちしております。

ボランティアの方の募集も行っています。
開催日…第一、第三火曜日
午後一時～四時頃迄

代表者…佐川 京子
Tel…二七八―四五一〇

フライングディスク参加者募集

高浜の療育センター三階にてフライングディスクのサークル活動を行っています。
みなさん楽しくプレイしています。
初心者からベテランまでどなたでも参加お待ちしております。

ボランティアの方の募集も行っています。
開催日…第二、第四木曜日
午後一時～四時頃迄

代表者…佐川 京子
Tel…二七八―四五一〇

ボッチャサークル参加者募集

高浜の療育センター三階にてボッチャのサークル活動を行っています。
みなさん楽しくプレイしています。
初心者からベテランまでどなたでも参加お待ちしております。
ボランティアの方の募集も行っています。

開催日…第一、第三水曜日
午後一時～四時頃迄

代表者…小野 昭光
Tel…

〇九〇―一〇四四―〇一七二

インターネットでもご覧になれます

千葉市身体障害者福祉社会が発行する本誌「千葉身障」は千葉市のホームページでも閲覧が出来ます。

「千葉市身体障害者福祉社会」と検索してもらえると直ぐに閲覧出来ます。是非ご利用下さい

「千葉身障」郵送開始

本誌「千葉身障」が第261号より各会員様へ郵送の運びとなりました。当会地区役員の高齢化に伴い、配布が困難となっていました。地区が増加したため、郵送での配布に踏み切りました。

各種行事の参加等に関しては、本誌を読み、理事まで申し込みお願いいたします。

また、年に1度の年会費の集金はこれまでと変更無く、役員が訪問させていただきまします。

地区役員との面会の機会が減少してしまふ問題もありますが、会員の皆さん、ご理解、ご協力ください。

計報 一件

松本 弘美様(緑区)

平成三十年十二月二十一日

(六十六歳)

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

(組織委員会)片岡



一・五五五募金

林 四郎様(緑区)
飛山 幸子様(中央区)
田島 敏子様(中央区)
村松 百合様(中央区)
畑中 昌子様(中央区)
田中 秀子様(中央区)
松岡 多喜子様(中央区)
醍醐 正子様(美浜区)
佐川 京子様(美浜区)
佐藤 加代子様(美浜区)
小倉 春夫様(稲毛区)

毎回の協力に感謝しお礼を申し上げます。
有難うございました。
(財務委員会)小倉

発行人…

特定非営利活動法人

障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17

ヴェルドウーラ祖師谷102号

編集人…

千葉市身体障害者福祉社会

千葉市中央区千葉寺町1208-2

ハーモニープラザ3階

千葉身障に関するご意見、ご要望、問い合わせは以下にお願いします。

FaxTel…〇四三―二〇九―三三八一
〇四三―二〇九―三三八二